

25 精神医療センター新館棟ほか機械設備改修工事
(工事名称はすべて上記名称に読み替えるものとする。)

図面番号		図面名称
M-	1	機械設備工事特記仕様書 (1)
	2	機械設備工事特記仕様書 (2)
	3	機械設備工事特記仕様書 (3)
	4	案内・配置図
	5	エネルギー棟 空調機器表
	6	エネルギー棟 1階 機械室 平面図
	7	新館棟 空調機器表
	8	新館棟 地下1階 機械室 平面図
	9	新館棟 衛生機器表
	10	新館棟 衛生設備 系統図
	11	新館棟用ポンプ室 配置図
	12	新館棟用ポンプ室 受水槽廻り 衛生設備詳細図

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称 25精神医療センター新館様ほか機械設備改修工事
 2 工事場所 埼玉県北足立郡伊奈町小室818-2
 3 工期 起 約 日 から 令和 7年1月28日
 現場施工期間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日
 4 建物概要 現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行 令別表第一	備考
① 新館様	RC	B1F/3F	6,779.85		
② エネルギー棟	S	2F	450.00		
③ 新館様用ポンプ室	RC	1F	66.12		
④					
⑤					

5 工事項目 (●印を付いたものを適用する。)

建築物及び屋外 工事箇所	工 事 種 別				
	①	②	③	④	屋外
● 空 気 調 節 設 備	一 式	一 式			
○ 排 煙 設 備					
○ 自 動 制 煙 設 備					
○ 衛 生 器 具 設 備					
● 給 水 設 備			一 式		
○ 排 水 設 備					
○ 給 湯 設 備					
○ 消 火 設 備					
○ 貯 蔵 罐 設 備					
● ガ ス 設 備		一 式			

6 指定部分 無 ● 有
 対象部分： 工期： 令和 年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期
 請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで) の期間、令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期
 工事完成後、検査が終了 (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断
 自然災害の発生又は増悪文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要

- ・新館様 冷水水発生機の改修
- ・新館様用ポンプ室 加圧給水ポンプユニットの更新
- ・エネルギー棟 冷水水発生機の改修
タービンガスメータの交換

10 同時期発注の関連工事

- ・建築工事
- ・電気設備工事

1 共通仕様

- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設施工事標準原（機械設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に準拠して施工する。
- なお、異常住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2 特記仕様

- (1) 章は◎印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
 ◎印と⊙印の付いた場合は、共に適用する。

項 目		特 記 事 項
①	機 材 等	本工事に使用する設備・材料等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員へ提出するとし、使用済材料については7日間以上の検査履歴を有することとし、7日以内の検査履歴は、使用しないこと。 「工事による環境物品等の取扱いの推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その利用基準、取決事項を満たすこと。 調達する工事材料は、増土廃棄とするとするものとすること。 ・置く ・置かない
②	電気保安技術者	
③	施工条件	施工時間 ※行政機関の外の日に関する休日（第39号令）に定める行政機関の休日以外。 上記以外の休日に施工を行う場合は事前に監督員へ許可を得ること。
④	技能者の活用	・配管工（配管主任） ・建築衛生工（風通気作及取付担当） ・熱処理工（保溫工） ・冷空調整備組施工（冷空調整備機の据付）
⑤	地盤の検査及び試験、施工の検査及び試験	敷設及び試験を行うべき機器等は、標準仕様書及び特別仕様書による以下に示す通りである。 用途により使用する設備機器の据付け及び取り完了後、水質試験を行う。水質試験は、次のとおり。（水質基準に関する省令）に基づく化学的、物理的及び生物学的な試験とし、公定の検測所、試験所又は認定の試験所（事前には監督員の承認を得る）で依頼して行うものとし、その結果は、監督員に出頭することとする。 ただし、検査項目→①一般細菌、②大腸菌、③溶存酸素量、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫浮遊性物質の12項目とする。 ※雨水利用用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状況に入った速やかに（概ね3ヶ月以内）1級入水・処理水の水質試験を行うこと。 試験は上記の用途に係る場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとすること。
⑥	監督員事務所	本工事で ・設ける（規模） ※設けない
⑦	官公署その他への届出手続等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。
⑧	工事用電力・水等	本工事に必要な工事用電力及び水などの費用は、すべて受注者の負担とする。
⑨	工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくことが ※できる ・できない
⑩	足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で利用できる。 ・本工事とする。
⑪	建設発生地の処理	埋め戻し後の建設残土は、 ・監督員が指示する箇所の場所に敷きならす。 ・横方搬出施設で処理する。
⑫	埋めの戻し土・盛土	※取捨ごとの原則費とし（但しコンクリート管状体の周囲は山の崩落） ・山砂の種類
⑬	再生砂、再生砕石、再生アスコン使用	再生砂などは原則費でない。ただし、監督員の了解を得た場合に限り、表層以外に ・使用できる。 ※使用できない
⑭	再生砂の使用に先立ち	再生砂の使用に先立ち、1個人あたり1人換算の六価クロム・鉛溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。
⑮	発生地の処理等	※引渡しを要するもの以外は構内に搬出し、分別処理をする。 （横方搬出施設は 本工事 ・別途） （１）引渡しを要するもの（ ） （２）買取処分をするもの（ ） （３）再生資源化を図るもの（ ・破損化ビニル管 （ ） （４）特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は報告を提出すること。
⑯	容量等の表示	（１）機器の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
16	配 管	（１）地中埋設配管（節水を除く） ※※（図示の箇所） ・不要 １）地中埋設経（コンクリート製） ※※（接続部の分岐、曲部） ・不要 ２）地中埋設経（キャップパイプ） ３）埋設配管テープ（2倍伸長耐力）
⑰	耐震施工	設備機器の固定等、（ ・建築物耐震設計 ・施工指針 2014年版）（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計水平地震力K _v 、及び設計用鉛直震度K _v （K _v /2）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。
設計用水平地震力		耐震安全性の評価
設置場所	・特定の施設	・一般の施設
	重要機器 一般機器	重要機器 一般機器
上層階	2.0 1.5 1.5 1.0	
屋上及び塔屋	<2.0> <2.0> <2.0> <1.5>	
	1.5 1.0 1.0 0.6	
中間階	(1.5) (1.5) (1.5) (1.0)	
	<1.5> <1.0> <1.0> <0.6>	
	1.0 0.6 0.6 0.4	
1階及び地下階	<1.0> <1.0> <1.0> <0.6>	
	<1.5> <1.0> <1.0> <0.6>	
(注) ① 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 ② > の数値は水栓等に適用する。		
※上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2層、10～12階建の場合は上層7階、13階以上の場合は最上層を指す。		
中間階とは地下階、1階を除く各階で上層に隣接しないもの（平屋建の場合は無し）		
重要機器とは次のものを示す。		
給水装置	排水装置	換気器
防災設備	監視制御設備	空調機器
火を使用する設備	危険物貯蔵装置	熱源機器
火を使用する設備 避難経路上に設置する場合		
⑱：あと施工アンカー	機器、配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験をもった者が行うこと。 金属吊钩系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、溝長の完了が終わる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、溝長の完了、マーキング、カプル挿入、硬化の完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。	
計 年 月 日		
R07. 03. 28		地方独立行政法人埼玉県立病院機構

※給湯設備工事等の標準の種類の別				
区分	施工箇所	保温種類		
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅵ		
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ		
	天井内、P.S内及び空腔壁中 浴室、厨房等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅷ		
換気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・Ⅱ		
	天井内、P.S内及び空腔壁中	B・(イ)・Ⅲ		
	床下、階内床（ビッド内、共同溝を含む。）、 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	C2・(イ)・Ⅲ D・(イ)・Ⅲ E3・(イ)・Ⅲ		
冷水・冷温水管 (廊下等、空気管、 廊下タンクからボ イラー等への補給 水管を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・Ⅶ		
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅷ		
	天井内、P.S内及び空腔壁中 床下、階内床（ビッド内、共同溝を含む。）、 及び浴室、厨房内の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	C1・(ロ)・Ⅷ D・(ハ)・Ⅷ E3・(ハ)・Ⅲ		
温水管 (廊下等を含む。)	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ロ)・Ⅰ		
	機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・Ⅱ		
	天井内、P.S内及び空腔壁中 床下、階内床（ビッド内、共同溝を含む。）、 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	C2・(ロ)・Ⅱ D・(ロ)・Ⅱ E3・(ロ)・Ⅰ		

(注) 1. 冷暖管は、断熱材被覆管を使用し、弁装は下記による。
 屋内露出部 ※保温化粧カバー（※樹脂製）・亜鉛メッキ鋼板製（・SUS製）
 屋外露出部 ※溶融アルミニウム系断熱被覆ラックラック・SUSラックラック
 保温化粧カバー（※樹脂製）・亜鉛メッキ鋼板製（・SUS製）
 2. 施工箇所Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧断熱板を使用する。
 3. 機器類の保温材の種類は、（※グラスウール保温材・ロックウール保温材）とする。

ダクトの保温の種類			
区分	施工箇所	保温種類	
気方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(ロ)・Ⅹ1	
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(ロ)・Ⅹ1	
	屋内隠ぺい、D.S内 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）、 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	I・(ロ)・Ⅹ1 K3・(ロ)・Ⅹ1	
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(ロ)・Ⅹ1	
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(ロ)・Ⅹ1	
	屋内隠ぺい、D.S内 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	N・(ロ)・Ⅹ1 P3・(ロ)・Ⅹ1	
消費内給り	サイエーション 消費チャンバー・消費エール	M・(ロ)・Ⅹ1 L・(ロ)・Ⅷ	

(注) 1. 厨房ダクトの保温材は、管轄消防の規則を確認の上、選定すること。

給排水衛生設備工事等の標準の種類の別			
区分	施工箇所	保温種類	
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・Ⅶ	
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅷ	
	天井内 P.S内及び空腔壁中 床下、階内床（ビッド内、共同溝を含む。）、 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）、 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅷ — — — e3・(ハ)・Ⅶ	
排水及び通気管	屋内露出（一般居室、廊下）	—	
	機械室、書庫、倉庫	—	
	天井内 P.S内及び空腔壁中 屋外露出（バルコニー、解放廊下を含む。）、 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	— — — —	
給湯管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ロ)・Ⅰ	
	機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・Ⅱ	
	天井内 P.S内及び空腔壁中 屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所 (廊下の天井内は含まない。)	c2・(ロ)・Ⅰ — — e3・(ロ)・Ⅰ	

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。
 2. 排水管の管壁が耐火2層層、耐火V.Pの場合は、保温を要しない。
 3. 施工順序4の材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧断熱板を使用する。
 4. 換熱器の保温材の種類は、（※グラスウール・ロックウール）とする。
 5. 消火管管外周部保温は、a3・(ハ)・Ⅶとする。
 6. 夜所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。
 7. 空調設備を要する場所（特別支援学校等）以外の便所で高度ポリエチレン管を使用する場合は、施工箇所から下り保温を要しない。
 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散値による区分は、
 原則としてF☆☆☆☆とする。
 ※屋外露出給水管（呼び径20以上のみ）は、保温厚40mmの防凍保護を行うこと。
 ※図示の屋外露出（給水管、消火管、給湯管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は
 下記仕様により防凍保護を要する。
 ※保温仕様は保温厚50を40mmとする。
 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

19 防凍保護

(注) 1. 給湯配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
 2. 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエポキシ樹脂電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
 3. ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

部長	管理幹	主幹	主査	主査	担当	縮尺	工

— 精神医療センター —

● 一般共通事項	22 はり及び打設 施工アンカー打設	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及び土施と施工アンカー打設前、図面に示す箇所についてX線撮影を実施すること。 電動リールの巻けが鉄釘、金型配管等に接触した場合に、自動で電動工機の電源を遮断する装置を使用する。
● 改修一般事項	23 管の埋設深さ	(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車両道路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他場所では、地表面(舗装する部分では路盤材下面)から管の上端まで300mmとする。
● 改修一般事項	24 既設管分枝・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督官の承認を受ける。
● 改修一般事項	25 絶縁継手の設置・種別	※コンクリートの建物物に入ります箇所の新設出露部配管 ※管を銅管及びこれに類する部分 ※銅管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50以下以下絶縁ニロンとし、それ以上は絶縁フレンジ ・全て絶縁フレンジ
● 改修一般事項	26 他工事との 取合区分	スリーブ、入れ入る工事の取合いは、工事区分によるものとし、施工に支障を及ぼさない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督官と打合わせする。
● 改修一般事項	27 施工区等の取扱い	施工区等の著作権に係わる当該建物に限り使用できるは、発注者に帰属するものとする。
● 改修一般事項	28 保 険	受注者は工事目的及び工事材料について工事完成期日後14日までに、これを火災が保障対象になっている保証金提供等にかけて、証書の写しを監督官に提出する。 受注者は法外発生の労災保険に付し、証書の写しを監督官に提出する。
● 改修一般事項	29 配管識別	配管等の識別は、その方法等について監督官と協議のうえ行うこと。
● 改修一般事項	30 塗料禁止用器具 (フルハーネス型)	※使用を要する 塗料禁止用器具の安全使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基設第22号)による ・使用を要しない
● 改修一般事項	31 誘導電動機	三相誘導電動機はJIS C 4213 (IE3) トップランナーモーターとする。
● 改修一般事項	32 完成品等の 電子結品	完成品等の電子結品適用ガイドライン ※適用する ・適用しない 完成品の表紙及び表紙裏には(名、受、発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主機種別一覧表、受、発注者名、形式、容量又は出力、数量等)を記載すること。 ※居住住宅の完成図の提出部数は、A3二折しを標準4部とする。
● 改修一般事項	33 そ の 他	工事完了後、監督官と打合わせの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施することとし、工事完了後、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
● 改修一般事項	34 共通事項	改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は無条件で標準仕様書の一般共通事項による。
● 改修一般事項	35 改修部分の足場	本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・ 枠組足場 (2) 外部足場 ※A種(枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種 ※足場を設ける場合は、「(手すり先行施工に関するガイドライン)」について(厚生労働省発第042400号平成21年4月24日)の「手すり先行施工に関するガイドライン」により、「脚立及び不安定な部分のある足場」に適合する手すり、中束及び横木等の機能 を有する足場とし、足場の組立て、解体又は設置の作業は、「手すり先行施工による足場の組立てに関する基準」の(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり専用足場方式により行うものとする。
● 改修一般事項	36 既存部分養生・ 既存家具等養生	○別表受注者と共用部分 ※別表契約の別表受注者が定めたものは無条件で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による)。 ・本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート ・ 合板
● 改修一般事項	37 備品等の移動	○別途工事 ・ 本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事
● 改修一般事項	38 仮設間仕切り	(1) 関係請負業者と共用部分 ※別表契約の別表受注者が定めたものは無条件で使用できる。 ・本工事で負担とする。(種別は(2)による)。 ・本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ・ A種 ・ B種 ・ C種
● 改修一般事項	39 撤去機材の扱い	(1) 撤去部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は取捨区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現貨発生品として監督官に報告する。 それ以外の機材は種別別に産業廃棄物として分別分別し、マニフェストを監督官に提出する。
● 改修一般事項	40 支持金物の再使用	(1) インサート金物 ・ インサートの腐蝕に引試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・ 再使用できる ※新品
● 改修一般事項	41 あと施工アンカー の種別	金属張強アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督官の承認を受けなければならない。
● 改修一般事項	42 フロン回収	冷媒等の回収に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊フロン回収機 ・ フロン再生後引き渡し ・ 未再生後引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。
● 改修一般事項	43 取 合 調 整	・ 全体再調整 ※改修部分に影響するものとし、
● 改修一般事項	44 既設基礎等の解体 はつり	建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場で使用する重機等は、建設建築物の位置及び規模に応じた規模及び規格のものとして、粉じん・飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適度水や粉じん発生量を適度と環境対策に配慮すること。
● 改修一般事項	45 アスベスト事前 調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿粉じん防制等の事前調査を建築物所有権者(権利関係者)により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長等に対して報告すること。
● 改修一般事項	46 そ の 他	(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障のないよう十分に綿密に打合せを行うこと。
● 改修一般事項	2024. 12	
● 改修一般事項	事 名 称	図 面 名
● 改修一般事項	新館棟ほか機械設備改修工事	機械設備工事特記仕様書 (1)
● 改修一般事項		図面番号
● 改修一般事項		M 機 0 1

環境配慮
ペグリーン
改修工事

1 アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項

1 本工事は、アスベスト含有のおそれのある収付付材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2 アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3 この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁庁舎補修部公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下「改修標準」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿はく露防止及び石綿飛散防止防止対策徹底マニュアル」（令和3年3月 厚生労働省・環境省）による。

2 アスベスト含有分析
調査

分析によるアスベスト含有建材の調査
・ 行う（下表による）

材 料 名	調査方法（1材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析
	※ 定性分析 ・ 定量分析

採取箇所 ※ 図示

分析対象
※ アスベスト 6 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソファイト、トレモライト）

調査方法・分析方法
※ JIS A 1481 規格群（1481-1, 2, 3, 4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。
分析結果については、監督員に提出すること。

3 アスベスト粉じん
濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定
・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）
測定箇所 ※ 図示

測 用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数 （各処理作業ごと）	備考
①-③	①-③	測定1	処理作業室内	※各2点・各3点	
○	○	測定2	施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
○	○	測定3	処理作業室内	各2点	
○	○	測定4	処理作業中 セキユリティー ゾーン入口	各1点	空気の流れを 確認
○	○	測定5	責任・除じん装置の排出口 （処理作業室外の場合）	各1点	除じん装置 の性能確認
○	○	測定6	施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
○	○	測定7	処理作業室内	※各2点 （①-③は1点）	
○	○	測定8 （撤去シート 撤去前）	施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	
○	○	測定9	処理作業室内	※各2点 （①-③は1点）	
○	○	測定10 （シート撤去後 1週間以降）	施工区画周辺又は 敷地境界	4方向各1点	

アスベスト粉じん濃度測定方法
アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006 空気中の繊維状粒子測定方法―第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。
測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

計数機器	位相差・分散顕微鏡	測定3	測定1, 2, 4, 6, 7, 8, 9, 10	測定5
ワフリンパの直径	25 mm			47 mm
試料の吸引流量	1 l/min		5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min		120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセレン法又は、シュウ酸ジエチル法			
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野			
計数アスベスト	直径（幅）3 μm 未満、長さ5 μm 以上、長さ×直径比 3:1 以上の繊維状物質			
定量限界	50 f/l		0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）
ア 測定結果
イ 測定時間
ウ 測定位置（測定高さとともに図面に記載）
エ サンプルング条件（マンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ マウンティング方法
カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
キ 測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク 周辺地形や捕集網の状況を撮影した写真

4 72μm以上含有収付付材
の除去（レベル1）

アスベスト含有収付付材の除去
・ 行う 除去方法は8.1.3による後、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

【8.1.3】
除去物及び汚染物等
処理方法
※密閉処理（二重袋梱包）
関係発生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能高圧降膜フィルタ、粉じん捕フィルタについても密閉処理を行う。
・ セメント固化
処理を行う収付付アスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

5 72μm以上含有保温材等
の除去（レベル2）

アスベスト含有保温材の除去
・ 行う
作業上の関係
・ 行う
・ 行わない
処理を行う保温材等アスベストの仕様

材 料 名	厚さ (mm)	処 理 を 行 う 範 囲
		※ 図示 ・

6 72μm以上含有成形部材
の除去（レベル3）

1 アスベスト含有成形部材の除去
・ 行う
処理を行うアスベスト成形部材の仕様等

材 料 名 (製品名)	含有するア スベストの濃度	処 理 を 行 う 範 囲
・	※ 図示	・
・	※ 図示	・
・	※ 図示	・
・	※ 図示	・
・	※ 図示	・

2 非石綿部での切断による除去
・ 行う
処理を行うアスベスト含有物の仕様等

材 料 名	含有するア スベストの濃度	処 理 を 行 う 範 囲
・ 設備機器ダクト接合部（石綿含有パッキン類）	※ 図示	○ 撤去範囲すべて
・ 石綿含有保温材付配管	※ 図示	○ 撤去範囲すべて
・ 石綿含有配管フランジパッキン	※ 図示	○ 撤去範囲すべて
・	※ 図示	○ 撤去範囲すべて

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれをご慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

＜参考＞石綿使用有物の事前調査フロー

(1) 設計図書による調査
① 施工年による調査
② 使用建築材料による調査

可能性あり・不明

(2) 現場目視による調査
目視調査（建材の確認）

可能性あり・不明

分析を実施しない場合

分析を実施する場合

(3) 分析調査による判定
JIS A 1481-2「建築製品中のアスベスト含有率測定方法」など

石綿含有とみなす

石綿含有0.1%を超えていると判断

石綿含有0.1%以下と判断

石綿使用あり・届出要件確認・届出

石綿使用なし

可能性なし

可能性なし

＜参考＞非放射性石綿含有建材を除去する時の作業フロー

1 成形された配管保温材等を原形のまま取り外しによる除去（レベル2）
成形された配管保温材等を原形のまま取り外す場合には、石綿飛散の程度が比較的低いことから、隔離養生（負圧不要）、散水等による湿潤化による石綿の飛散防止措置を行い、次の手順で除去する。なお、劣化し石綿飛散のおそれがある場合には、石綿含有収付付材等の切断等による除去と同等の措置を講じる。また、作業中に事前調査により把握していない飛散性石綿含有建材が確認された場合には、直ちに作業を中止し、飛散防止措置を講ずるとともに、関係機関に連絡する。

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

150

151

152

153

154

155

156

157

158

159

160

161

162

163

164

165

166

167

168

169

170

171

172

173

174

175

176

177

178

179

180

181

182

183

184

185

186

187

188

189

190

191

192

193

194

195

196

197

198

199

200

201

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

215

216

217

218

219

220

221

222

223

224

225

226

227

228

229

230

231

232

233

234

235

236

237

238

239

240

241

242

243

244

245

246

247

248

249

250

251

252

253

254

255

256

257

258

259

260

261

262

263

264

265

266

267

268

269

270

271

272

273

274

275

276

277

278

279

280

281

282

283

284

285

286

287

288

289

290

291

292

293

294

295

296

297

298

299

300

301

302

303

304

305

306

307

308

309

310

311

312

313

314

315

316

317

318

319

320

321

322

323

324

325

326

327

328

329

330

331

332

333

334

335

336

337

338

339

340

341

342

343

344

345

346

347

348

349

350

351

352

353

354

355

356

357

358

359

360

361

362

363

364

365

366

367

368

369

370

371

372

373

374

375

376

377

378

379

380

381

382

383

384

385

386

387

388

389

390

391

392

393

394

395

396

397

398

399

400

401

402

403

404

405

406

407

408

409

410

411

412

413

414

415

416

417

418

419

420

421

422

423

424

425

426

427

428

429

430

431

432

433

434

435

436

437

438

439

440

441

442

443

444

445

446

447

448

449

450

451

452

453

454

455

456

457

458

459

460

461

462

463

464

465

466

467

468

469

470

471

472

473

474

475

476

477

478

479

480

481

482

483

484

485

486

487

488

489

490

491

492

493

494

495

496

497

498

499

500

501

502

503

504

505

506

507

508

509

510

511

512

513

514

515

516

517

518

519

520

521

522

523

524

525

526

527

528

529

530

531

532

533

534

535

536

537

538

539

540

541

542

543

544

545

546

547

548

549

550

551

552

553

554

555

556

557

558

559

560

561

562

563

564

565

566

567

568

569

570

571

572

573

574

575

576

577

578

579

580

581

582

583

584

585

586

587

588

589

590

591

592

593

594

595

596

597

598

599

600

601

602

603

604

605

606

607

608

609

610

611

612

613

614

615

616

617

618

619

620

621

622

623

624

625

626

627

628

629

630

631

632

633

634

635

636

637

638

639

640

641

642

643

644

645

646

647

648

649

650

651

652

653

654

655

656

657

658

659

660

661

662

663

664

665

666

667

668

669

670

671

672

673

674

675

676

677

678

679

680

681

682

683

684

685

686

687

688

689

690

691

692

693

694

695

696

697

698

699

700

701

702

703

704

705

706

707

708

709

710

711

712

713

714

715

716

717

718

719

720

721

722

723

724

725

726

727

728

729

730

731

732

733

734

735

736

737

738

739

740

741

742

743

744

745

746

747

748

749

750

751

752

753

754

755

756

757

758

759

760

761

762

763

764

765

766

767

768

769

770

771

772

773

774

775

776

777

778

779

780

781

782

783

784

785

786

787

788

789

790

791

792

793

794

795

796

797

798

799

800

801

802

803

804

805

806

807

808

809

810

811

812

813

814

815

816

817

818

819

820

821

822

823

824

825

826

827

828

829

830

831

832

833

834

835

836

837

838

839

840

841

842

843

844

845

846

847

848

849

850

851

852

853

854

855

856

857

858

859

860

861

862

863

864

865

866

867

868

869

870

871

872

873

874

875

876

877

878

879

880

881

882

883

884

885

886

887

888

889

890

891

892

893

894

895

896

897

898

899

900

901

902

903

904

905

906

907

908

909

910

911

912

913

914

915

916

917

918

919

920

921

922

923

924

925

926

927

928

929

930

931

932

933

934

935

936

937

938

939

940

941

942

943

944

945

946

947

948

949

950

951

952

953

954

955

956

957

958

959

960

961

962

963

964

965

966

967

968

969

970

971

972

973

974

975

976

977

978

979

980

981

982

983

984

985

986

987

988

989

990

991

992

993

994

995

996

997

998

999

1000



町道4004号
(法42条1項1号道路)

通用門

加圧給水ポンプ更新

調整池

冷温水機改修

冷温水機改修

【新館棟】
平成18年度竣工
7,089.10 m²

中庭

【本館棟】
平成2年度竣工
9,396.74 m²

中庭

社会福祉棟

中庭

自立訓練棟

外来駐車場

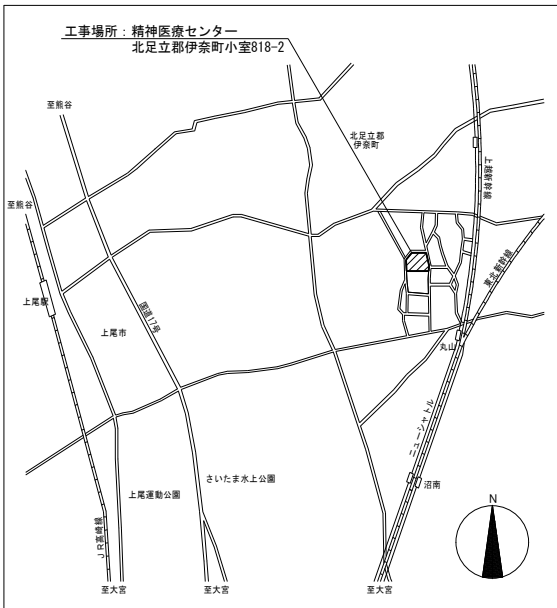
一般駐車場

受水槽

配置図

正門

構内通路



案内図

凡例
[Hatched Box] 工事範囲を示す

	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

概要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	監理	有 限 公 司 クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 重 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-6 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター新館棟ほか機械設備改修工事 図面名 案内・配置図	設計図 縮尺 A1 1:400 A3 1:800	図面番号 M - 04
	R07年03月28日		栗木	栗木	大谷				

機器表（エネルギー棟）											
記 号	名 称	台数	仕 様			動 力		起動 方式	設 置 場 所	備 考	
						φ	V	Kw			
R-1,2	冷温水発生機	2	形 式：ガス焚油焚付用型	3	200	6.1			1階冷凍機室	空調設備	
			冷凍能力：528 kw/h (150RT)							コンクリート基礎（既存利用）	
			加熱能力：442 kw/h								
			冷温水量：1,514 L/min							（核算油量計・ガス流量計付）	
			冷水温度：7～12℃ 温水温度：55.8～60℃							冷房時COP 1.3以上	
			冷却水量：2,500 L/min								
			冷却水温度：32～37.2℃							川重冷熱工業株式会社	
			燃料消費量：（冷房）都市ガス 13A 35.0 Nm ³ /h 灯油 40.9 L/h							型式 Σtec-150DN5C	
			（暖房）都市ガス 13A 42.0 Nm ³ /h 灯油 49.0 L/h							製造番号 93861、93862	
			制御方式：比例制御								
			付 属 品：温度計、標準付風呂一式共								
TE-1	膨張タンク	1	形 式：密閉式膨張タンク						1階機械室-1	空調設備	
			容 量：1,200 L							コンクリート基礎（本工事）	
			寸 法：1000x2040H							森永エンジニアリング株式会社	
										型式 G-1200	
										製造番号 MG12-0-02028898-02	
HE-1	熱交換器（冷温水用） （ネットワークー精神）	1	型 式：プレート式						1階機械室-1	空調設備	
			交換熱量：575 kW							コンクリート基礎本工事	
			1次側：冷温水量 1,380 L/min								
			冷水温度 7.5～13.5℃ 温水温度 75～65℃								
			2次側：冷温水量 1,650 L/min								
			冷水温度 14～9℃ 温水温度 55～60℃								
CGS-1	コージェネレーション	1	エンジン	1	200	19W			屋外	（別途工事）	
			形 式：ガス焚 立形直列水冷4サイクル								
			定格出力：25.0 kw								
			出力制御方式：インバータ制御								
			発電機形式：開放形 排熱回収熱交換器：SUS製プレート式								
			系統連携運転：有り（逆潮流なし）								
			出力電圧範囲：182～222 V 出力周波数範囲：50 Hz								
			電力歪率：総合5%以下（定格時にて）								
			排熱回収熱量：38.4 kw								
			総合効率：85 %								
			燃料消費量：都市ガス 13A 6.47 Nm ³ /h（低圧0.98～2.45 kPa）								
			付 属 品：系統連携保護装置、システムコントローラー（参考型番：LX610B3）								
			遠隔監視アダプタ、連携ユニット（AC200V19W）、その他標準付風呂品								
HE-CGS	熱交換器（給湯用）	1	型 式：SUS製プレート式						機械室-1	給湯設備	
			交換熱量：38.4 kW							コンクリート基礎本工事	
			1次側：排熱温水量 110 L/min 排熱温水温度 70～65℃							アルファ・ラバル株式会社	
			2次側：給湯量 110 L/min 給湯温度 60～65℃							型式 M3-FG 製造番号 41251005327	
HP-1	給湯循環ポンプ	1	型 式：SUS製ラインポンプ（給湯循環用 70℃）	3	200	0.25			機械室-1	給湯設備	
			水 量：110 L/min 静圧：50 kPa							株式会社荏原製作所	
			発 停：CGS連動							型式 32LPS 5.25A 製造番号 P12736763	
HP-2	給湯循環ポンプ	1	型 式：SUS製ラインポンプ（給湯循環用 40～65℃）	3	200	0.25			機械室-1	給湯設備	
			水 量：110 L/min 静圧：50 kPa							株式会社荏原製作所	
			発 停：CGS連動							型式 32LPS 5.25A 製造番号 P12736764	
HT-2	貯湯槽	1	型 式：SUS製 立形密閉式						機械室-1	給湯設備・コンクリート基礎本工事	
			貯 湯 量：1,000 L 耐圧：0.2 MPa							株式会社島倉鉄工所	
TE-CGS	膨張タンク	1	形 式：密閉式膨張タンク						1階機械室-1	給湯設備	
			膨張容量：13.5 L							森永エンジニアリング株式会社	
			寸 法：280x329x380H							型式 DE-18	
WP-1	補給水ポンプ	1	型 式：受水槽付水道加圧装置	3	200	1.13			機械室-1	空調配管補給水	
			水 量：58 L/min 静圧：0.28 MPa							テラル多久株式会社	
										型式 THP5-V型	

※R-1'は軸封メカニカルシール付とする。

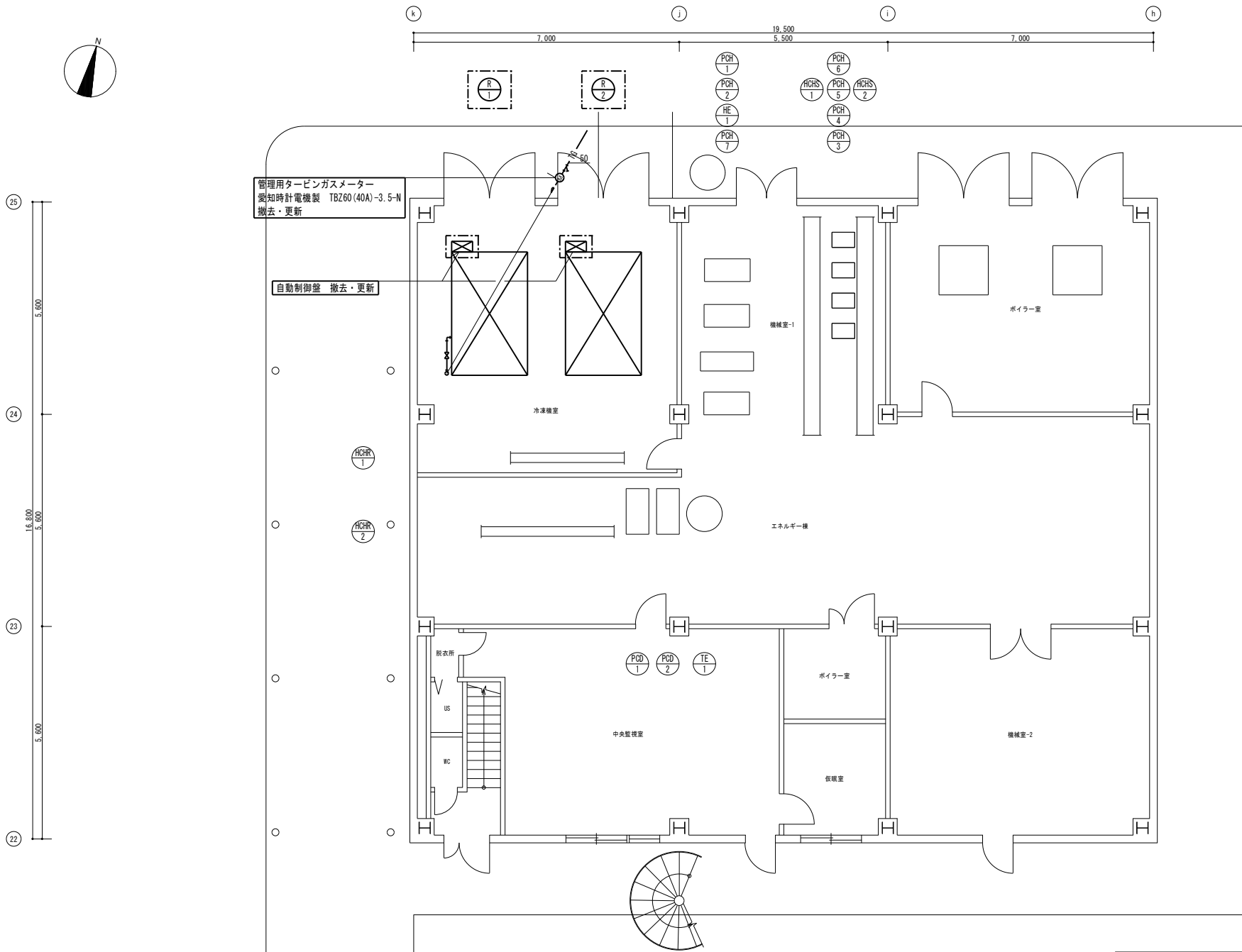
記 号	名 称	型 式	口 径	水量 (L/min)	揚程 (mH2O)	台数	φ	V	Kw	P	起動 方式	備 考
POH-1, POH-2	冷温水ポンプ (1次)	渦巻	150	1,512	19	2	3	200	7.5	4		コンクリート基礎 ゴム防振架台 株式会社荏原製作所 型式 100x80FS4H5.7 製造番号 (POH-1) P12736739.1 (POH-2) P12736739.2
POH-3, 4, 5, 6	冷温水ポンプ (2次) ユニット	渦巻	100	770	26	4	3	200	5.5	2		インバーター制御 (電気工事) ゴム防振架台、コンクリート基礎 (H C H S - 1、2 含む、M-10参照) 株式会社荏原製作所 型式 80x65FSQ055.5A 製造番号 (POH-3) P12736761.1 (POH-4) P12736761.2 (POH-5) P12736761.3 (POH-6) P12736761.4
POH-7	冷温水ポンプ (1次) HE-1	渦巻	150	1,650	5	1	3	200	3.7	4		コンクリート基礎 ゴム防振架台 株式会社荏原製作所 型式 100x80FS4H53.7 製造番号 P12736744

記 号	名 称	型 式	口 径	長さ (mm)	架台 (mm)	台数	備 考
HCHS-1	サプライヘッダ 冷温水用 (1次)	鋼管製	250	5,500	450	1	ヘッダー架台 (ポンプユニットに含む)、温度計・圧力計 コンクリート基礎 標準基礎 (その他必要な付属品一式共) 株式会社島倉鉄工所
HCHS-2	サプライヘッダ 冷温水用 (2次)	鋼管製	250	5,500	450	1	ヘッダー架台 (ポンプユニットに含む)、温度計・圧力計 コンクリート基礎 標準基礎 (その他必要な付属品一式共) 株式会社島倉鉄工所
HCHR-1	レターンヘッダ 冷温水用 (1次)	鋼管製	300	3,000	450	1	ヘッダー架台 (バルブ芯1300H)、温度計・圧力計 コンクリート基礎 標準基礎 (その他必要な付属品一式共) 株式会社島倉鉄工所
HCHR-2	レターンヘッダ 冷温水用 (2次)	鋼管製	300	3,500	450	1	ヘッダー架台 (バルブ芯1300H)、温度計・圧力計 コンクリート基礎 標準基礎 (その他必要な付属品一式共) 株式会社島倉鉄工所

R-1,2 改修概要
運転制御盤 各1面 撤去・更新

R-1 改修概要
管理用ガスタービンメーター40A 1個 撤去・更新

										地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部		本部長		管理幹		主 幹		主 任		担 当	



凡例
[] 改修機器を示す

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

概要	設計年月日	変更年月日	照 査	設 計	製 図	新 興 ク ラ フ ト 設 備 設 計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 直 本 社 〒360-0824 熊 谷 市 見 晴 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 高 崎 市 370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター新館棟ほか機械設備改修工事 図面名 エネルギー棟 1階 機械室 平面図	設計図 縮尺 A 1 1 : 50 A 3 1 : 100	図面番号 M - 06
	R07年03月28日		栗 木	栗 木	佐 藤 大 谷				

機器表（新館棟）

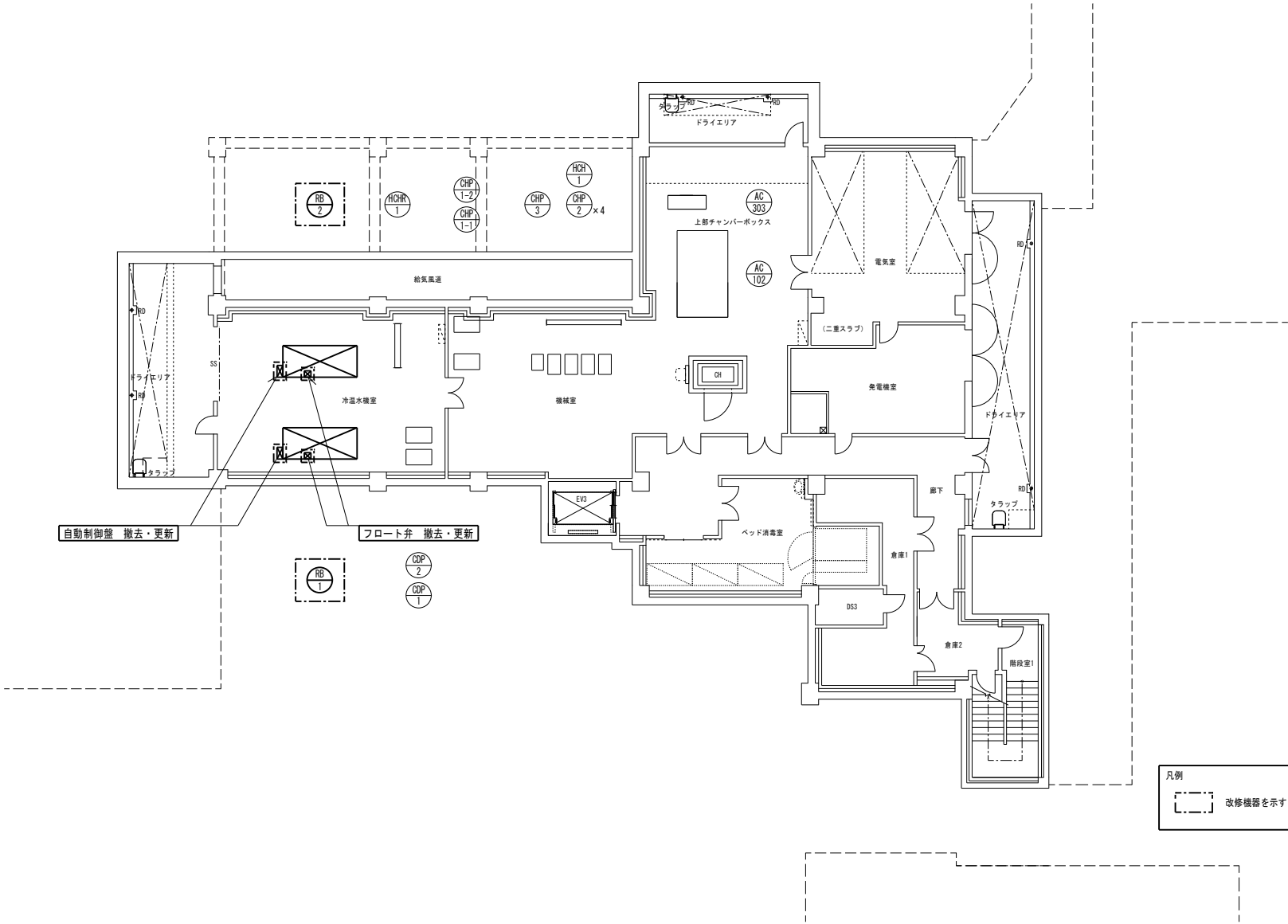
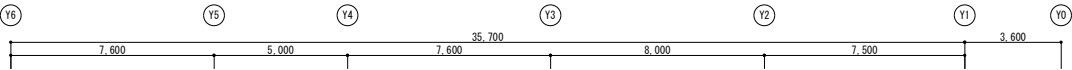
記号	名 称	台数	機 器 仕 様	電 気 容 量			設置場所	非常電源	備 考
				φ	V	(kw) 運転方式			
RB-1,2	冷温水発生機	2	型式 : ガス吸収式冷温水発生機(暖房特大型 ヘビーロード仕様) 仕様 : 冷房能力 528kw 暖房能力 530kw 冷温水量(Δt=8℃) 950L/min 冷水7℃-15℃ 温水55℃ 冷却水量 2500L/min 32℃-37.5℃ 燃料消費量(13A) 冷房 37.5Nm ³ /h 暖房 49.1Nm ³ /h 付属品 : 制御盤、他標準付属品一式	3	200	5.8kVA L-S	地下1階冷温水機室		Σ TB6150MW5 川重冷熱工業(株)
CT-1,2	冷却塔	2	型式 : 開放式冷却塔(二重効用吸収式超低騒音型) 耐震2.0G 仕様 : 冷却能力 990kw (27℃乾) 冷却水量 2500L/min (37.5℃-32℃) 付属品 : 薬注装置、スプリング防振架台、他標準付属品一式	3	200	5.5 送風機	屋上		SDW-U150ASSD (株)荏原シンワ
CDP-1,2	冷却水ポンプ	2	型式 : 片吸込渦巻きポンプ 仕様 : 125φ×100φ×2600L/min×180kPa 付属品 : スプリング防振架台、他標準付属品一式	3	200	15.0 A-Δ	地下1階冷温水機室		125X100FS4KC515 荏原実業(株)
CHP-1-1,2	冷温水ポンプ(1次)	2	型式 : 片吸込渦巻きポンプ 仕様 : 80φ×65φ×950L/min×230kPa 付属品 : スプリング防振架台、他標準付属品一式	3	200	7.5 L-S	地下1階機械室B1		80X65FS4KS7.5 荏原実業(株)
CHP-2-1,2,3,4	冷温水ポンプ(2次)	4	型式 : 片吸込渦巻きポンプ 仕様 : 65φ×50φ×370L/min×480kPa 付属品 : スプリング防振架台、他標準付属品一式	3	200	7.5 L-S	地下1階機械室B1		65X50FS2H57.5 荏原実業(株)
CHP-3	冷温水ポンプ(2次) (1階更衣室系統)	1	型式 : 片吸込渦巻きポンプ 仕様 : 40φ×32φ×130L/min×330kPa 付属品 : スプリング防振架台、他標準付属品一式	3	200	2.2 L-S	地下1階機械室B1		40X32FS2G52.2 荏原実業(株)
HGH-1	冷温水ヘッダー(往)	1	仕様 : 200φ×3480L(SGP製) 架台800H				地下1階機械室B1		125A×3,100A×5,65A×1,圧力計,温度計
HQHR-1	冷温水ヘッダー(還)	1	仕様 : 250φ×2070L(SGP製) 架台800H				地下1階冷温水機室		150A×1,125A×2,100A×1,65A×1 圧力計,温度計
AC-101	外気処理空調機 (1階外来診療系統)	1	型式 : コンパクト形外気処理空調機 仕様 : 送風機能力 3150m ³ /h×420Pa(機外静圧) 冷温水コイル(冷却38.8kw,加熱41.7kw) 冷温水量(Δt=8℃) 73L/min 冷水7℃-15℃ 温水55℃ フィルター NBS65% 加湿量(気化式) 25.0kg/h 付属品 : スプリング防振架台、温度計×2,圧力計×2	3	200	2.2 L-S	1階機械室1		AJ60-A0-BD 新晃工業(株)
AC-102	外気処理空調機 (1階厨房系統)	1	型式 : ユニット形外気処理空調機 仕様 : 送風機能力 29600m ³ /h×810Pa(機外静圧) 冷温水コイル(冷却373.0kw,加熱166.2kw) 冷温水量(Δt=8℃) 669L/min 冷水7℃-15℃ 温水55℃ フィルタープレ(AFJ50%)+NBS65% 付属品 : スプリング防振架台、温度計×2,圧力計×2	3	200	18.5 A-Δ	地下1階機械室B1		GH-35 新晃工業(株)
AC-201	外気処理空調機 (2階中学生病室系統)	1	型式 : コンパクト形外気処理空調機 仕様 : 送風機能力 3500m ³ /h×450Pa(機外静圧) 冷温水コイル(冷却43.1kw,加熱46.4kw) 冷温水量(Δt=8℃) 84L/min 冷水7℃-15℃ 温水55℃ フィルター NBS65% 加湿量(気化式) 28.0kg/h 付属品 : スプリング防振架台、温度計×2,圧力計×2	3	200	2.2 L-S	2階機械室21		AJ80-A0-BD 新晃工業(株)
AC-202	外気処理空調機 (2階小学生病室系統)	1	型式 : コンパクト形外気処理空調機 仕様 : 送風機能力 3750m ³ /h×440Pa(機外静圧) 冷温水コイル(冷却46.42kw,加熱49.7kw) 冷温水量(Δt=8℃) 90L/min 冷水7℃-15℃ 温水55℃ フィルター NBS65% 加湿量(気化式) 24.0kg/h 付属品 : スプリング防振架台、温度計×2,圧力計×2	3	200	2.2 L-S	2階機械室22		AJ60-A0-BD 新晃工業(株)

RB-1,2 改修概要

1. 運転制御盤 各1面 撤去・更新
2. フロート弁 各1組 撤去・更新

概要	設計年月日 R07年03月28日	変更年月日	照 査 設 計 製 図 栗 木 栗 木 佐 藤 大 谷	新晃 クラフト 設備 設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 直 本 社 〒360-0824 熊 谷 市 見 晴 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 高 崎 市 370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター新館棟ほか機械設備改修工事 新館棟 空調機器表	設計図 図面番号 M - 07 縮尺 A 1 : 1 : NON A 3 : 1 : NON
----	---------------------	-------	--------------------------------	--	--	--

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

概要	設計年月日	変更年月日	照 査	設 計	製 図	有 限 公 司 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 直 本 社 〒360-0824 熊 谷 市 見 晴 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 高 崎 市 370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター新館棟ほか機械設備改修工事 図面名 新館棟 地下1階 機械室 平面図	設計図 縮尺 A 1 1 : 100 A 3 1 : 200	図面番号 M - 08
	R07年03月28日		栗 木	栗 木	佐 藤				
			大 谷						

機器表（新館棟）

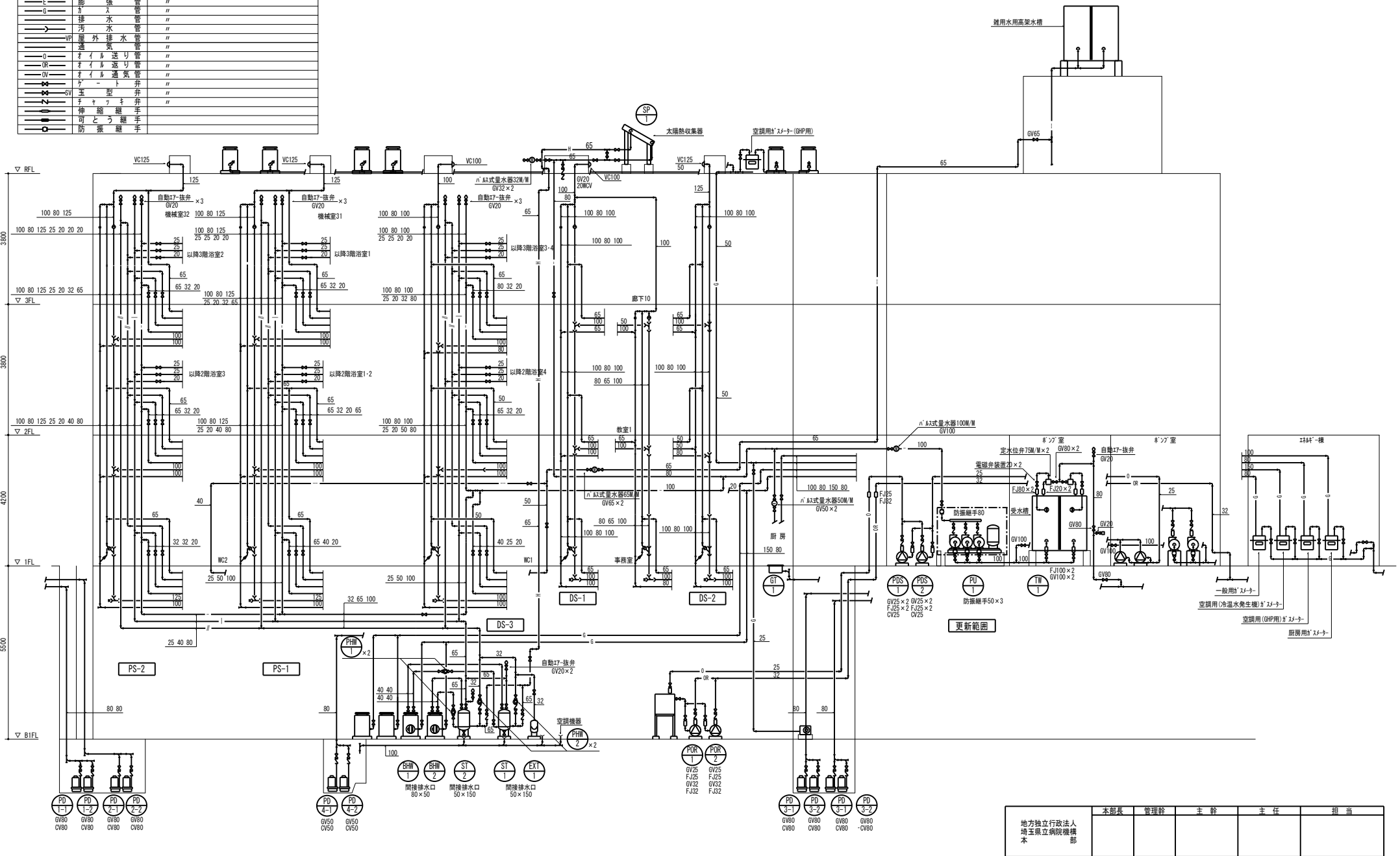
記 号	名 称	台数	機 器 仕 様	電 気 容 量				設置場所	非常電源	備 考
				φ	V	(kw)	起動方式			
TW-1	受水槽	1	型式 : 銅板製エポキシライニング(溶接型) (中仕切付) 仕様 : 容量 37.0m ³ (有効) 寸法 4600×3500×3010H(呼称 48.5m ³) 水平震度 1.0G 付属品 : マンホール、内外梯子、緊急遮断弁(100A×2、制御盤共)	1	100			屋外受水槽置場		(株)エヌ・ワイ・ケイ
PU-1	給水ポンプユニット	1組	型式 : 加圧給水ポンプユニット(3台ローテーション2台並列運転) 仕様 : 50φ×80φ×500L/min×330kPa 付属品 : 制御盤、他標準付属品一式	3	200	3.7×2	L-S	屋外ポンプ室	○	50BNEMD3.7A 撤去・更新
BHW-1,2	給湯ボイラー	2	型式 : ガス焚き真空式温水機(1回路) 低NOx仕様 仕様 : 定格出力 116.0kw ガス消費量(13A) 11.2Nm ³ /h 伝熱面積 2.2m ² 最高使用水頭圧力 980kPa 付属品 : 制御盤	3	200	0.92	L-S	地下1階冷温水機室		GHL-100WN (株)日本サーモエナー
ST-1	貯湯槽	2	型式 : ステンレス製縦型貯湯槽(SUS444) 仕様 : 容量 2000L					地下1階機械室B1		(株)島倉鉄工所
EXT-1	膨張タンク	1	型式 : ダイアフラム密閉式膨張タンク 仕様 : 膨張量 109L タンク容量 259L 最高使用圧力 590kPa					地下1階冷温水機室		(株)島倉鉄工所
PHW-1-1,2	給湯ポンプ(1次)	2	型式 : ステンレス製ラインポンプ 仕様 : 32φ×90L/min×60kPa	3	200	0.25	L-S	地下1階機械室B1		32LPSS.25A 荏原実業(株)
PHW-2-1,2	給湯ポンプ(2次)	2	型式 : ステンレス製ラインポンプ 仕様 : 25φ×20L/min×70kPa	3	200	0.15	L-S	地下1階機械室B1		25LPSS.15A 荏原実業(株)
POS-1,2	給油ポンプ	2	型式 : ギアポンプ(灯油用) 仕様 : 9φ×5L/min×150kPa 付属品 : 模式ストレーナー、他標準付属品一式	3	200	0.20	L-S	屋外ポンプ室	○	自動交互運転 12GPA5.2A 荏原実業(株)
POR-1,2	返油ポンプ	2	型式 : ギアポンプ(灯油用) 仕様 : 9φ×5L/min×150kPa 付属品 : 模式ストレーナー、他標準付属品一式	3	200	0.20	L-S	地下1階発電機室	○	自動交互運転 12GPA5.2A 荏原実業(株)
PD-1-1,2	雨水ポンプ	2 (1組)	型式 : 排水用水中ポンプ 仕様 : 50φ×100L/min×110kPa 付属品 : 制御盤、フロートスイッチ、水中ケーブル(20m)	3	200	0.75	L-S	ドライエリア(西)雨水槽	○	自動交互非常時同時運転 50DVSS.75A 荏原実業(株)
PD-2-1,2	雨水ポンプ	2 (1組)	型式 : 排水用水中ポンプ 仕様 : 50φ×100L/min×110kPa 付属品 : 制御盤、フロートスイッチ、水中ケーブル(20m)	3	200	0.75	L-S	ドライエリア(北)雨水槽	○	自動交互非常時同時運転 50DVSS.75A 荏原実業(株)
PD-3-1,2	雨水ポンプ	2 (1組)	型式 : 排水用水中ポンプ 仕様 : 65φ×250L/min×130kPa 付属品 : 制御盤、フロートスイッチ、水中ケーブル(20m)	3	200	1.5	L-S	ドライエリア(東)雨水槽	○	自動交互非常時同時運転 65DVSS1.5 荏原実業(株)
PD-4-1,2	雑排水ポンプ	2 (1組)	型式 : 排水用水中ポンプ 仕様 : 50φ×200L/min×110kPa 付属品 : 制御盤、フロートスイッチ、水中ケーブル(20m)	3	200	1.5	L-S	地下雑排水槽	○	自動交互非常時同時運転 50DVSS1.5 荏原実業(株)
PD-5-1,2	湧水ポンプ	2 (1組)	型式 : 排水用水中ポンプ 仕様 : 65φ×250L/min×110kPa	3	200	1.5	L-S	ドライエリア(東)湧水槽	○	自動交互非常時同時運転 65DVSS1.5 荏原実業(株)
GH-1	ガス瞬間湯沸器	3	型式 : 屋外壁掛(50号相当) 仕様 : ガス消費量 108.0kw 付属品 : リモコンスイッチ、リモコンコード(20m)	1	100	410W	L-S	厨房外部		RUXC-V5001MW リンナイ(株)

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

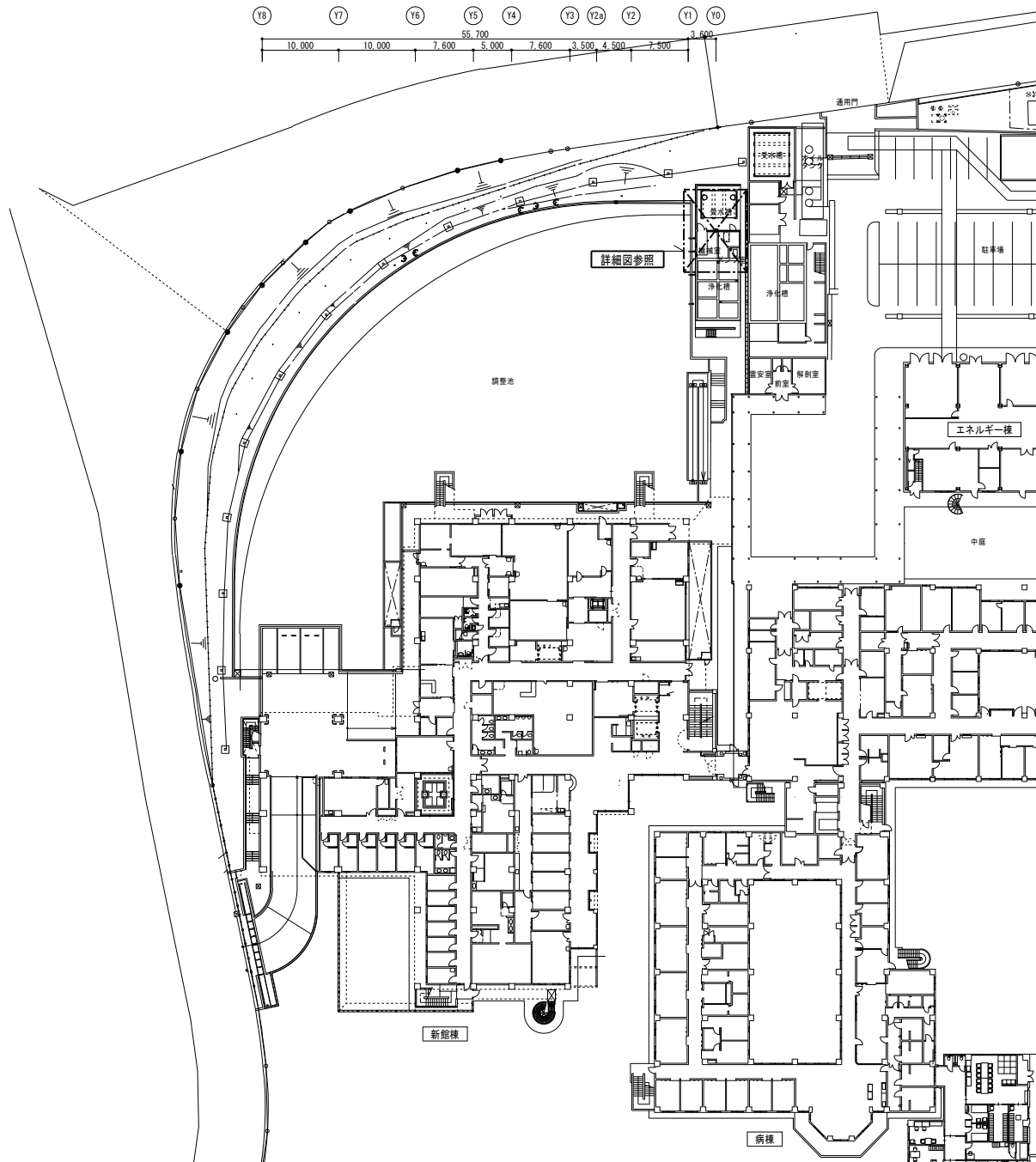
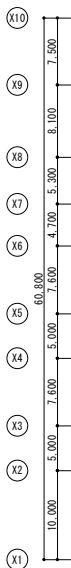
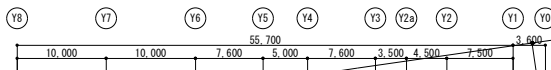
概要	設計年月日 R07年03月28日	変更年月日	照 査 設 計 製 図 栗 木 栗 木 佐 藤 大 谷	新 クラフト設備設計 建築設備士 第6101-2681M 号一般建築士 第337527号 栗木 直 本 社 千 360-0824 熊 谷 市 見 晴 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 高 崎 千 370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター新館棟ほか機械設備改修工事 新館棟 衛生機器表	設計図 図面番号 M - 09 縮尺A1 1 : NON A3 1 : NON
----	---------------------	-------	--------------------------------	--	--	---

凡 例

記 号	名 称	仕 様
—	給 水 管	特記仕様書に準ずる
—	給 水 管 (中 水)	—
—	給 湯 送 り 管	—
—	給 湯 送 り 管	—
—	膨 張 管	—
—	入 気 管	—
—	排 水 管	—
—	汚 水 管	—
—	屋 外 排 水 管	—
—	送 気 管	—
—	オ イ ル 送 り 管	—
—	オ イ ル 送 り 管	—
—	オ イ ル 送 気 管	—
—	ゲ ー ト 弁	—
—	玉 型 弁	—
—	チ ャ ッ キ 弁	—
—	伸 縮 継 手	—
—	可 とう 継 手	—
—	防 震 継 手	—

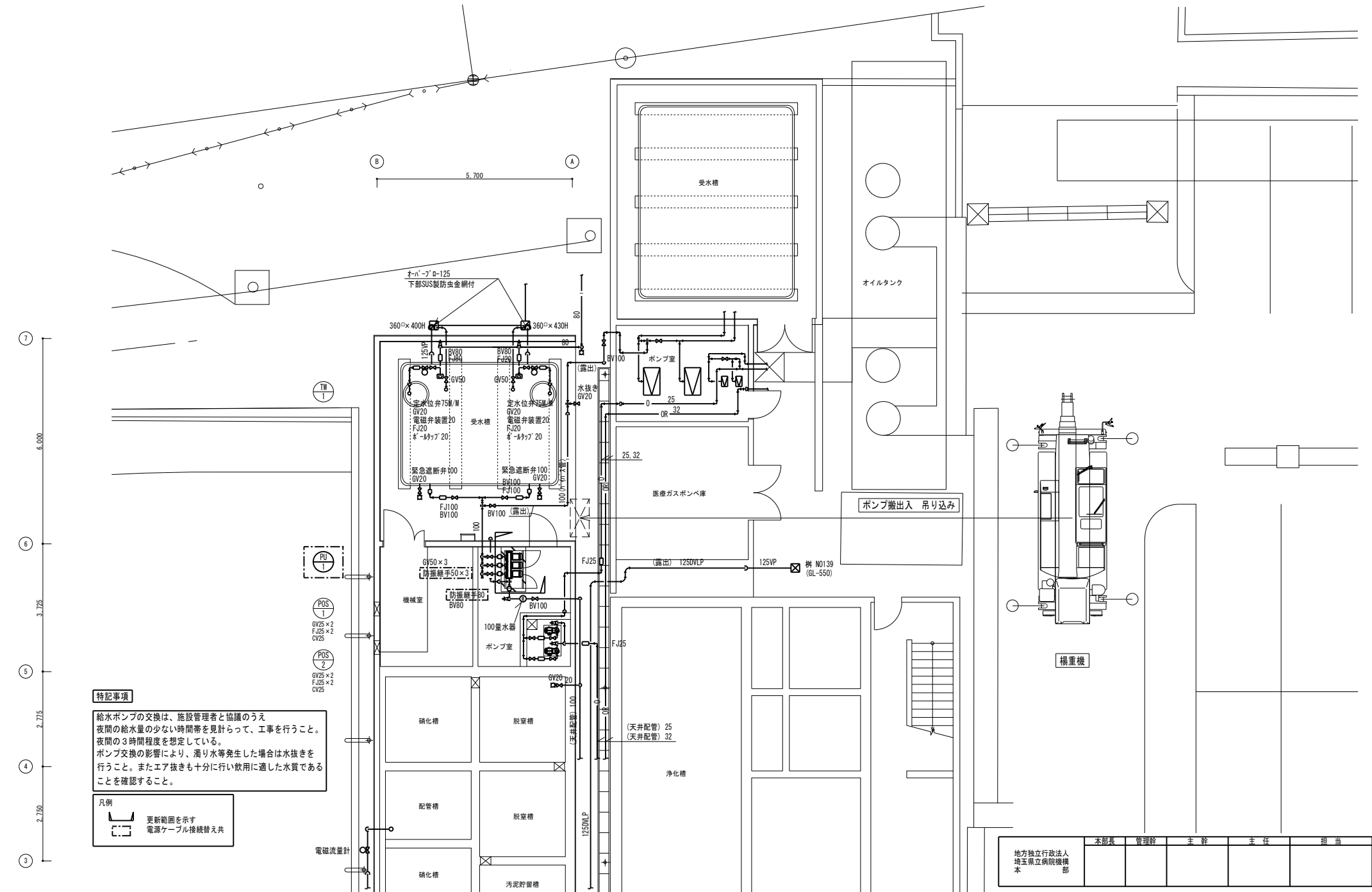


概要	設計年月日	変更年月日	照 査	設 計	製 図	新 館 機 械 設 計	工事名称	設計図	図面番号
	R07年03月28日		栗 木	栗 木	佐 藤	大 谷	精神医療センター新館機ほか機械設備改修工事	新館機 衛生設備 系統図	M - 10
							地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部		



地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	本部長	管理幹	主 幹	主 任	担 当

摘要	設計年月日	変更年月日		無 査	設 計	製 図	有 限 公 司 ク ラ フ ト 設 備 設 計 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 重 本 社 千 360-0824 熊 谷 市 見 晴 町 3 番 地 TEL 048-521-6300 支 社 千 370-0862 高 崎 市 片 岡 町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	精神医療センター新館ほか機械設備改修工事	設計図	図面番号	
	R07年03月28日			栗 木	栗 木	佐 藤		大 谷	国 画 名	新館棟用ポンプ室 配置図	縮尺 A1 1 : 300 A3 1 : 600	M - 11



特記事項

給水ポンプの交換は、施設管理者と協議のうえ
夜間の給水量の少ない時間帯を見計らって、工事を行うこと。
夜間の3時間程度を想定している。
ポンプ交換の影響により、濁り水等発生した場合は水抜きを
行うこと。またエア抜きも十分に行い飲用に適した水質である
ことを確認すること。

- 凡例
- 更新範囲を示す
 - 電源ケーブル接続替え共

工事名称	本部長	管理幹	主幹	主任	担当
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部					

概要	設計年月日 R07年 03 月 28 日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	有馬クラフト設備設計 建築設備士 第61C1-2681M 号-緑建築士 第 337527 号 栗木 重 本社 千 360-0824 熊本市見崎町 3 番地 TEL 048-521-6300 高崎 千 370-0862 高崎市片岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 精神医療センター新館様ほか機械設備改修工事 図面名 新館様用ポンプ室 受水槽廻り 衛生設備詳細図	設計図 編尺 A 1 1 : 50 A 3 1 : 100	図面番号 M - 12
----	-------------------------	-------	----------	----------	-------------	---	--	-------------------------------------	----------------